

# みんなで共有しよう！ 防災の心得

家庭備蓄の推進は、「誰一人取り残さない」社会を実現するSDGs(国連で採択された「持続可能な開発目標」)の点からも、国民生活の持続性を確保することにつながる取り組みです。このガイドに示されたさまざまなアイデアを広く共有し、できることから実践してみましょう。

## 加工可能な講演用資料 地域の集まりで活用しよう！

農林水産省では、自治会や学校など地域住民による集まりで、家庭備蓄の勉強会などを行う際に活用できる講演用資料を作成し、公開しています。

Webページ上で電子データのダウンロードができますので、地域の情報を加えるなどアレンジして活用することも可能です。

詳しくは、下記のWebページをご覧ください。

<http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/foodstock/index.html>



## 防災の心を贈る ギフトにもおすすめ

非常食などの備蓄食品を大切な人にギフトとして贈ることは、単にものを贈るだけでなく、「あなたは備えていますか？」というメッセージを送ることであります。日頃お世話になっている人に、思いやりの気持ちを伝えられるだけでなく、相手が「防災への備え」を意識するきっかけにもなります。缶詰やフリーズドライ食品、非常食の詰め合わせなど、贈答品として備蓄食品を取り入れてみてはいかがでしょうか。



## 農林水産省の活動 家庭備蓄の普及に向けた取り組み

農林水産省では、食料安全保障の観点から、家庭備蓄の普及に向けて、省内外での展示や防災イベントへの参画、各種ガイド、リーフレット、動画の作成・普及、政府広報の活用等を積極的に行っています。



消費者の部屋の特別展示(農林水産省本省)



備蓄食品を活用した親子クッキング(東海農政局)